学校番号	1204

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	子どもの発達と保育　育つ・育てる・育ち合う　（教育図書）						
副教材等	子どもの発達と保育　育つ・育てる・育ち合う　ワークノート（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・子どもの発達と保育について関心を持ち、理解を深め、知識を身に付けましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けよう。
・１年間を通して、講義での授業の他、実習、実験、グループワーク等さまざまな形式での授業を行います。日々の授業を大切にしましょう。
・提出物は期限を守り、教科書・ノート・ファイルの他、エプロン・三角巾等の忘れ物がないようにし、ルールはしっかり守りましょう。

2　学習の到達目標

乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの健全な成長を図る能力と態度を育てる。
保育の意義を理解し、現代の子育てとその課題を理解させ、問題解決能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達や子育て支援について関心を持ち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見いだし、思考を深め適切に判断し、創意工夫し表現する能力を身に付けている。	子どもと触れ合ったり、子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して、子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身に付けている。	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシート プリントの記述 実習記録表 レポート 発表 自己評価	学習状況の観察 ワークシート プリントの記述 実習記録表 レポート 発表 自己評価 定期考査	学習状況の観察 ワークシート プリントの記述 実習記録表 レポート 製作品 発表 自己評価 相互評価	学習状況の観察 ワークシート プリントの記述 実習記録表 レポート 発表 自己評価 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 5月	子どもの発達の特性	○生涯発達における乳幼児期の重要性 ○発達と環境 ○保育に見る発達観児童観	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○ ○	a:人間の発達について、自分自身の問題として考える姿勢を持っている。 b:人の一生をライフサイクルとして捉え人とのかかわりがいかに大切かを認識している。 c:社会の人間観の変遷がそのまま児童観の変遷に反映されていることを例を挙げて示すことができる。 d:子どもを取り巻く環境には様々なシステムがあり、そのかかわりの大切さを理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
6月 7月	子どもの発達過程	○身体発育と運動機能の発達 ○乳幼児期のからだの発育 妊婦疑似体験実習 ○乳幼児期の発達の特徴 ○人間関係の発達 ○心の発達	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○	a:乳幼児の精神発達について、自分自身の子ども時代のことを調べるなどして、具体的に考える姿勢を持っている。 b:乳幼児期の基本的情緒の形成には、愛情で結ばれた親と子の絆が重要であるという認識を深めている。 c:乳幼児の生理的特徴が成人と大きく異なることを具体的に説明できる。 d:発達の共通性と個別性について理解している。	授業観察 ワークシート 実習レポート 定期考査
7月 8月	子どもの生活	○子どもの健康と生活 沐浴実習 ○子どもの食事 離乳食・幼児食実習	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:子どもの生活を学ぶ中で、様々な課題や問題点を考えようという態度が見られる。 b:食事が生活習慣の形成や心の発達に及ぼす影響を認識している。 c:乳幼児期の食生活の特徴を把握し、説明することができる。 d:子どもの用語の必要性と目的について理解している。	授業観察 ワークシート 実習レポート 定期考査
9月 10月 11月	子どもの生活	○子どもの衣服 製作実習 おむつの性能実験 ○子どもの遊びと生活 おもちゃ製作実習 ○子どもの健康管理	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:保育者としてどのように関わるのがよいか、理想像を考えながら学習する姿勢を持っている。 b:子ども自身の表現活動を活発にするために何が必要か、という見方ができる。 c:さまざまな児童文化財のなかから、子どもの発達段階にふさわしいものを選択することができる。 d:子どもの健康状態の観察のポイントを理解している。	授業観察 ワークシート レポート 実習レポート 定期考査

	子どもの保育	○保育の意義と目標 ○保育の方法 ○保育の環境	○ ○ ○	○ ○	○	○ ○ ○	a:保育の意義について、自分自身が親になることを考えるなど、自分の問題として捉える態度が見られる。 b:年齢に応じた保育者の関わりを考えることができる。 c:保育者としての具体的な援助の方法を説明することができる。 d:家庭保育と集団保育の役割を理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
12月 1月 2月	子どもの福祉	○児童福祉の理念と制度 ○福祉に関わる施設	○	○ ○	○	○ ○	a:児童福祉の必要性について具体的な問題を通して考えようとする姿勢が見られる。 b:子どもを保護対象とするだけでなく、主体的な存在として捉えることができる。 c:児童福祉について、法律や制度の点から考察できる。 d:児童福祉の理念と特徴を理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
	子育て支援	○これからの子どもの福祉	○	○	○	○	a:法律や制度を実生活に結び付けて学ぼうとしている。 b:児童福祉の理念がさまざまな制度に生かされていることを認識している。 c:主な施設の役割について説明することができる。 d:児童福祉を実現するための法律・制度を理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。